

天沼小だより

文責 校長 丹羽 悦子



令和元年度 教育活動評価の結果 お知らせ

日頃より、学校の教育活動にご理解やご協力をいただき、ありがとうございます。2学期末に実施しました学校評価アンケートの結果がまとまりました。すでに児童へは、1月22日の全校朝会（テレビ朝会）で知らせました。すべての項目が、80%以上でしたが、その中でも「すすんであいさつをする」と「学校のきまりを守って生活する」が昨年度よりも1.6%ほど下がっていましたのでがんばることの確認をしました。以下は主な項目と結果の考察です。詳しくは、天沼小学校ホームページの「学校評価」（カラー版）として掲載しますのでご覧ください。

アンケート調査の結果 ◎ 継続したいよいところ ● 改善努力したいところ

グラフの見方
左から順に



項目Ⅰ 保護者との連携

1 学校は、子どもの様子を適切に伝え、保護者と連携して指導にあたっている。



2 学校は、担任や、スクールカウンセラーなど相談に応じる態勢がある。



◎学校から家庭に学校・学級だより、保健だよりやふれあいメールなどで必要な連絡や子どもの様子が伝えられていると考えます。児童及び保護者との教育相談は、スクールカウンセラーや教育相談員によって随時応じる態勢を整えており、相談の件数が増えています。

●家庭と学校が連携した子どもへの指導という点では不十分な面もあります。集団生活の中で見せる子どもの姿と家庭で見せる子どもの姿の両面を知って、学校ができること、家庭ができることを互いに理解しあって、子どもの成長につながる指導を行っていきたいと考えます。また、教育相談の申込については日程や時間を調整する必要がありますので、電話等で教頭に希望をお伝えください。

項目Ⅱ 「確かな学力」の育成

3 子どもに確かな学力を身に付けさせている。

◇授業はわかりやすい



◇宿題と自主学習の両方取り組んでいる。

両方できている

宿題だけ

時々宿題を忘れる

両方できない



4 学校と家庭が連携して、家庭学習の習慣化や充実に努めている。

◇学校では、子どもたちに学力を身につけさせるために、授業や家庭学習において工夫した取組を行っている。



◇子どもの家庭での学習を支援している。



◎ 学校での授業の工夫や学力向上のための取組について、子どもによる、「授業は分かりやすい」という評価が今年度も 95.7 % と高い数値を示しています。今後も、子どもたちに分かりやすく、そして学力向上に資する取組を行います。

◎家庭学習の充実と習慣化は、本校の重点事項です。家庭でも支援していただいていることがわかります。85.3 % の子どもたちが、宿題と自主学習の両方に取り組んでいることがわかります。この数値は、昨年度より3.4%アップしています。今後も向上できるよう家庭と連携して参ります。

●今年度は、宿題も家庭学習も両方できていない子ども達が2.8%おりました。昨年度の1.2%からアップしています。各クラスに1人いるかないかの数値ですが、子ども達の家庭学習が習慣化し、意欲的に学習に向かい、確かな学力を身に付けていけるように、さらに学校と家庭で連携協力をしていきたいと思ひます。

項目Ⅲ 「豊かな心」の育成

5 児童は、進んであいさつをする、身の整理をするなどの望ましい行動が身に付いている。



6 児童は、相手の立場や気持ちを考えて、思いやりをもって友だちと関わっている。



7 温かな人間関係づくりや規範意識の育成に努め、いじめのない学校づくりをしている。



◎「進んで挨拶をする、身の整理をする」については、「できている」が教員・保護者とも80%を超えています。児童も「挨拶」については「よくできている」の回答が今年度、90.6%と良い傾向です。児童会や民生委員さんによる「あいさつ運動」が効果を上げたように思います。

●ただ、昨年度の92.9%からは、1.6%ダウンしています。「進んで挨拶をする、身の整理をする」については、教員の結果から、声をかけられて挨拶するのではなく、自分から進んで元気に挨拶ができる児童を増やしたいという点があげられました。学校では、朝の交通指導の人たちや、学校で会う来校者に自分から挨拶することを今後も指導していきます。

◎「いじめのない学校づくり」については、「友だちの気持ちを考えて」という項目が保護者・児童とも90%以上の回答でした。また、「いじめのない学校づくり」では、86.8%と低い数値ではないのですが、昨年度よりもダウンしています。今後もいじめ防止活動や「天沼小のよい子の一日」「よい子のルール」をもとに子どもたちの規範意識が高められるよう指導・支援していきたいと考えます。豊かな心の育成に資するために、保護者の方と連携・協力していきたいと考えます。

●「いじめのない学校づくり」では、些細なトラブルについても子どもの気持ちを考えたきめ細やかな指導を実施していきたいと思えます。友だちの立場や気持ちを考えて、望ましい言動がとれるよう集団生活の中ではぐくんでいきたいと思えます。そのためには、家庭と学校が連携しなければなりません。子どもの声に耳を傾けるだけではなく、学校で把握した事実もよく理解していただき、協力して豊かな心を育む教育を推進したいと思えます。今後も本校の重点項目として取り組んでいきます。



項目Ⅳ 基本的な生活習慣と健康・体力づくり

8 児童は、食事や睡眠など規則正しい生活習慣が身に付いている。



9 子どもの健康に留意し、体力づくりに取り組んでいる。

◇運動や外遊びを積極的にしている。



◎児童の健康・体力づくりにかかわる学校の取組について、よい評価となっています。特に「外で遊んだり運動したりしている」数値が、昨年度よりアップしました。今後も子どもの健康を増進させ、体力の向上になるように、保健活動と体育の充実を図り、家庭と連携して指導していきます。

●規則正しい生活習慣については、教員も保護者も「よくあてはまる」が減少しています。小学生にとって大切な項目ですので、「早寝・早起き・朝ごはん」、アウトメディアの励行などを続けていく必要があります。

項目Ⅴ 安全確保

10 子どもの事故の未然防止や災害対応の対策が十分にできている。



11 児童は、学校内外の事故防止や安全な登下校など安全を意識して、行動している。



◎安全対策については、今年度も災害時を想定した引き渡し訓練を実施し、不測の事態に備えることができました。これで十分ということはありませんので、今後も安全安心を目指して改善を進めていきます。

●事故を防ぐために、交通安全教室や着衣泳等実施していますが、子どもが自分の身を守る意識を高め、適切な行動がとれるよう指導を継続していきます。そして、「自分の命を守る」自覚を促したいと思います。家庭と学校で連携して指導する必要があります。